

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（11月定例会）
開催日時	平成23年11月11日（金曜日）14時00分から16時45分まで
開催場所	保谷庁舎 3階第2会議室
出席者	委員：濱崎議長、須永副議長、内田委員、倉島委員、操野委員、齋藤委員、白木委員、原委員、矢野委員 （欠席：稲葉委員、山田委員、川崎委員、本領委員） 事務局：磯崎社会教育課長、神田社会教育係長 （傍聴者：5人）
議題	(1) 西東京市における「放課後子供教室」のあり方について (2) その他
配布資料	資料1 西東京市における「放課後子供教室」のあり方に関する提言内容（第一案） 資料2 平成23年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会実施要項 資料3 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の運営改善に向けたアンケートの協力について（写） 資料4 平成23年度関東甲信越・研究大会予定表 ・みんなの生涯学習 No. 105号 ・図書館だより 第43号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>・平成23年10月会議録1か所訂正後、承認する。</p> <p>(1) 西東京市における「放課後子供教室」のあり方について</p> <p>1 先進市視察報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察先：こだいら放課後子ども教室四小地区（小平第四小学校） ・日時：11月4日（金曜日）午後2時30分～4時30分 ・参加者：濱崎、須永、内田、川崎、操野、白木、原の各委員（敬称略） ・参照資料：こだいら放課後子ども教室視察資料（レジメ・概要説明）、こだいら放課後子ども教室2010（冊子） <p>（感想）</p> <p>○委員：</p> <p>地域の居場所づくりになっている事業だと感じた。子どもたちも自由に遊んでいる様子だった。</p>	

○委員：

安全安心な居場所づくりのためには、地域とのつながりが大切だろう。PTAの関係者がどのくらい関わっているのだろうか。地域で子どもを育てるといいう意識を高めるためには地域とのつながりを密接にするものを創っていくことが必要だと思う。

○委員：

実施に向けては、やりたい人が出てきて、自主的に盛り上がるまで待つというスタンスは良いと思う。行政も、やりたい人を育てるといいう視点が大切だろう。放課後子供教室はこうでなければならないというものではなく、地域での取り組みが違っていても良いものだと感じた。関わっている大人も、ボランティアでやるが大前提で、子どもを育てることが楽しいという様子だった。西東京市にも十分素地があるので、取り組めるのではないかと感じた。

○委員：

大人と子どもが学び合う場が設定されているという点では、西東京市の地域生涯学習事業の取り組みを中心にしたもののように感じた。高齢者とのかわりについては参考になった。

○委員：

西東京市では、遊び場開放を中心に展開していくことになると思うが、小平市の場合の放課後子供教室と遊び場開放事業との関係がよくわからなかった。

2 提言内容について

○議長：

11月2日（水曜日）と8日（火曜日）に編集会議を開催し、10月28日（金曜日）までに各委員から事務局に提出された提言レポートに基づいて意見交換を行い、別紙資料1「西東京市における「放課後子供教室」のあり方に関する提言内容（第一案）」のとおり提言内容をまとめた。今回の資料については、提言文案ということではなく、提言の柱立てや盛り込む内容としてみていただき、ご意見をいただきたい。

（主な意見）

○委員：

今回の提言は、放課後子どもプランについてではなく放課後子供教室についての提言になると思う。

○委員：

学童クラブは、学童クラブとしての運営を充実させていくことが大切だろう。

○委員：

学童クラブと放課後子供教室はちがうものである。

○委員：

放課後子供教室の目的は、学童クラブの待機児童の受け皿としてではなく、子どもたちの放課後の豊かな居場所の一つとして考えていくものだろう。

○委員：

学童クラブとの連携は欠かせない。子どもたちの居場所の充実のためにも、お互い協力して進めていく必要があるだろう。

○委員：

最終的には、放課後子供教室を導入すべきという提言になるだろう。

○委員：

取り組みを始めるにしても、全部整えてから開始するのか。

○事務局：

放課後子供教室の内容も画一的なものではなくいろいろな段階がある。西東京市としても段階的に取り組むことになると思うが、その場合の留意点について提言をいただければと思う。

○委員：

西東京市での取り組みは、今までやってきた遊び場開放や体育館開放などの遊び場事業の内容を充実させていくことから始めることになると思う。

○委員：

提言内容の大筋はこれでよいと思う。加筆すべきことを出していったらどうか。

○委員：

地域での人材の掘り起こしや地域の理解や協力を得ることも肝要だと思う。

○委員：

そのためには、地域の人材や組織をつないで、まとめていくコーディネーターが必要になるだろう。

○委員：

学校を拠点にした地域の活動がたくさんある。これをベースにして人材を得ていくことができるだろう。

○委員：

学校選択制による地域のずれや保護者、地域団体の意識の違いなど、取り組みへの地域間格差が出てくるのではないか。

○委員：

保護者も地域の一員として、子どもたちのために何かやっていこうとする意識が大切だろう。

○委員：

やらされているということではなく、自分たちでやろうという意識づくりが必要だろう。

○委員：

関わる大人が、やっていて楽しいと思えるような取り組みができれば良いと思う。

○委員：

放課後子供教室は、学校施設開放運営協議会を中心に、負担なく取り組んでいってもらえることが必要だと思う。

○委員：

子どもの下校時の安全についても配慮すべきだろう。

○委員：

今後、子どもたちの居場所を豊かにするためには、より学校施設の活用を図る必要があるだろう。

3 今後の進め方

※編集会議で最終案文を作成し、12月定例会で確定する。

・編集作業

- ・今回の議論をもとに副議長が提言案文を作成し、編集会議で推敲する。
- ・必要に応じて何回か編集会議を開催する。

・第3回編集会議 11月21日（水曜日）午後1時30分～

(2) その他

1 社連協第4ブロック研修会（10月21日）の報告

- ・日時：10月21日（金曜日）午後1時20分～4時
- ・場所：国立ハンセン病資料館 映像ホール
- ・参加：濱崎、須永、内田、川崎、倉島、操野、齋藤、白木、原、本領、矢野の各委員（敬称略）

※参加委員より内容および感想等報告

2 関東甲信越静社会教育研究大会（11月18日）の参加について

- ・日時：11月18日（金曜日）午後1時20分～4時
- ・場所：茨城県つくば市 ノバホール
- ・参加予定：濱崎、須永、内田、川崎、倉島、原、矢野の各委員（敬称略）
- ・集合：午前8時45分 こもればいホール前
- ・当日時程：資料4「平成23年度関東甲信越・研究大会予定表」のとおり

3 社連協交流大会（12月3日）の参加について

- ・日時：12月3日（金曜日）午後1時45分～4時45分

- ・場所：多摩市立永山公民館
- ・参加予定：濱崎、須永、内田、川崎、倉島、操野、齋藤、原、本領、矢野の各委員（敬称略）

4 社連協のアンケートについて

○議長：

東京都町村社会教育委員連絡協議会事務局より、資料3のとおり今後の運営改善に向けたアンケート依頼があった。回答については議長一任でよろしいか。

○全委員：

異議なし。

5 次回会議

- ・平成23年12月16日（金曜日）午後2時から

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（11月定例会）は終了する。